



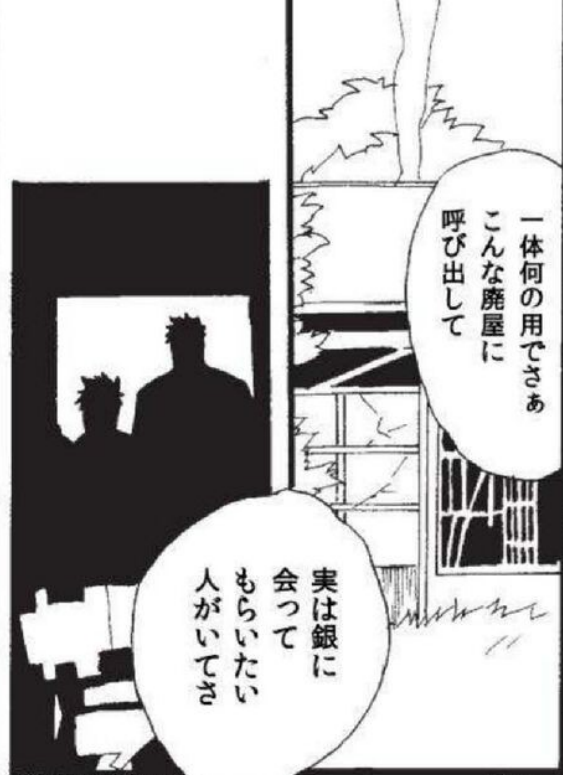
耽溺の因

たんでき

おとり

大熊猫のり男





実はこの清
この年になって
まだ体の経験が
ないらしくてさ

え？

恥ずかしい話だろう？
もう二十歳も
過ぎるというのに

快樂も
知らないなんて
兄の俺としても
何だか可哀想に
なつてきちまつてさ

ぼ…
坊ちゃ…っ

だから銀に
頼み事なだけで

こいつの筆下ろしに
一役買つてくれないかな？

ふ…
筆下ろし……!?

坊ちゃ…っ
何を言つて…っ

最近こんな話を
した時に
ついつい
俺と銀の関係を
こいつに
喋つちまつて

そしたら
「自分も一度銀さんを
試してみたい」なんて
言い出すから

どうやら
こいつも銀の事を
前から気になつてた
らしいぜ

んああっ

美味い…
これが乳首の
味なんですか
兄さん

んううつ

どうだ？
カチカチに
固くなってるだろう

本当だ……
太くて大きい…

そうだよ
銀も喜んでる
ほら
股間も
触ってみな

そのまま服を
下ろしてやれ
きつくて苦しそうだ

やめ…っ

清坊ちゃん…っ

ああ…

ああア!!

兄さん…っ
何か先端から
汁が…

ああ…
これはこいつが
感じてる証拠だ

んひっ

んひっ

んん…っ

小便みたいに出てるだろう？
銀もお前に
弄ばれて
喜んでるみたいだ

清：
後は俺が
解しておくから

前はお前が
慰めてやれ
齒を立てる
んじゃないぞ

ハ：ハイ
兄さん：

あつ
あはっ

あはああ!!

駄目…っ
駄目でさあ…っ

そんな事したら
俺は…っ
俺はあ…っ

そろそろ
入れ時
だな

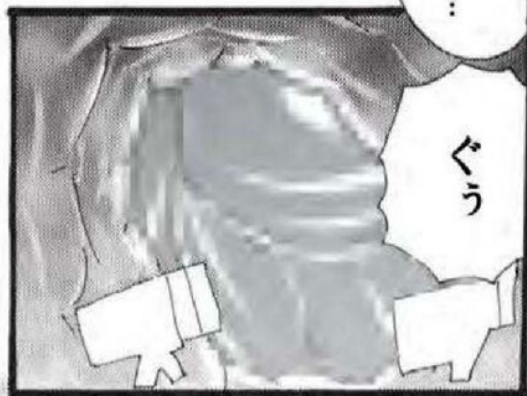
あふう

銀、清の上に
跨がつてくれ
清が入りやすい様に…



うんん…

いいぞ銀…
そのままゆつくり…



ぐう



ああ…っ

うう…



んぐううう…っ



ああん

凄…
兄さん…これが
人の体の中
なんですか…？

んあっ

はぐう

暖かくて
柔らかくて包み込んでくる
こんな感覚
僕…初めてです…っ

ああん…っ

ヒダが絡んでるんだ
これが擦れると
もつと気持ち良くなるんだよ

は…はい

そのまま
腰を上下に
動かしてみな

んぎゃうっ

銀さん!?

大丈夫
こいつは少し
乱暴にしても
それが快楽に
なるんだ

あぐ

あうう…っ

もつと
激しく
動かして
いいぞ清

押し倒してみな

でも…
兄さん…っ

うっ

戸惑うのか?
なら

あっ

うごっ

うごこ



銀
俺もそろそろ
慰めてくれ
ないか？

俺も
銀の体で
楽しみたい

んあ…っ
坊ちゃ…っ

駄目…っ
駄目でさあ!!

まだ清坊ちゃんが
入ってるのに…

義雄
坊ちゃ…っ

んあっ

んがあああう!!



壊れちま…っ
尻…壊れちまうう!!



に…
二本も…っ



甘ったれた事
言うなよ銀

この位お前は
全く平気だろう?



ああ…っ
兄さんの
擦れて…

だめ
また僕…
固くなって…



こ…堪えて
つかあさい
清坊ちゃん…っ

お願いだから
堪えて…っ

どうだ
気持ちいいか？

はぐう

はぐう

はっ

ああっ

二本も
喰わえるなんざ
そうそう出来ない
事だろう？

太いのが
二本も擦れて…

駄目…っ
俺…っ
止まらな…っ

出る…っ
出るうう!!

兄さん…!!
銀さんが…!!

銀
気持ち良すぎて
止まらなくなったのか？

制御しないと
いよいよ頭が
呆けてくるぞ

があう

があう

があう



うぎゅうう

あ
ぎゅ

はああつ

んぐ

んぐふ



あぐ

あんぐう



銀 駄目だ

俺も
イって
しまいそうだ



銀 いいか?

ああつ
駄目…っ

出したら
駄目エエ!!

二人で
出しても

孕んでしまうかも
しれないぞ

どうだ清
銀の体は

最高です
兄さん…
僕…もう
病みつきになりそう

銀
これからは
弟の分も
よろしく頼むぞ

うんと
可愛がって
やるからな…

おしまい

この作品には、HIVをはじめとする性感染症に罹る等の危険性のある表現が含まれていますが、作品の創造性を重視し、原作のまま掲載しています。 154